

# 緊急時対策所を活用する訓練行程

## 前回現地調査(平成26年1月28日)時の活動スケジュール

(経過時間)	0:00	0:30	1:00	1:30	2:00	2:30
発生事象	RCS圧力(15.4MPa) 地震発生 3号機 全交流電源喪失 3号機 RCPシールLOCA		RCS減温・減圧停止	RCS減温・減圧開始 充てんポンプ(自己冷却式)による炉心冷却開始	RCS減温・減圧停止	高圧再循環開始 RCS圧力(0.7MPa)
発電所 災害対策本部	緊急時対策所に対策本部設置、緊急対応指示等 原災法第15条該当事象発生(非常用炉心冷却装置作動失敗)					
緊急時対応訓練 (電源確保班)	移動・集合	(空冷式非常用発電装置による電源供給) 3号、4号起動	交流電源復帰			
緊急時対応訓練 (水源確保班)	移動・集合	補助給水タンクへの補給 中型ポンプ車(1台)移動、ホース敷設		(代替補機冷却等への冷却水供給) 中型ポンプ車(2台)移動、ホース敷設		
緊急時対応訓練 (配管接続班)	移動・集合	充てんポンプ自己冷却) 配管接続	ベンディング			
緊急時対応訓練 (燃料補給班)	移動・集合	(空冷式非常用発電装置への補給) 燃料補給(重油)				
緊急時対応訓練 (主蒸気逃がし弁による減圧操作)	移動・開操作					

追加設置した緊急時対策所を使用した  
今回の初動対応訓練範囲  
(詳細は下部スケジュール参照)

## 今回(平成27年4月22日)の活動スケジュール

訓練確認行程(案)						
(経過時間)	(00:00)	(00:30)	(01:00)			確認事項等
発生事象	RCS圧力(15.4MPa) 00:00 地震発生 3号機 全交流電源喪失 3号機 RCPシールLOCA	RCS減温・減圧開始	RCS減温・減圧停止 ACC出口弁閉止	RCS減温・減圧開始		<想定シナリオ> ・1、2号機：運転停止中 ・3号機：全交流電源喪失 + RCPシールLOCA ・平日・昼間の体制
発電所 災害対策本部 (緊急時対策所)	移動	第2種非常体制	通信連絡設備パラメータ表示システム等の使用開始	緊急時対応要員(電源確保班他)への情報連絡(適宜)		・緊急時対策所(EL.32M)への移動がスムーズに実施できているか。 ・発電所防災組織の役割と責任分担は明確か。 ・通信連絡設備およびパラメータ表示システム等が起動され、情報連携、パラメータ確認等が実施できているか。 ・災害対策本部と緊急時対応要員(電源確保班他)間との情報連絡が実施できているか。 ・発電所外関係個所(松山・高松災害対策本部)との情報連絡ができていないか。
バックアップ 電源	(作業完了目標時間 55分) 緊急時対策所バックアップ電源の供給準備					・緊急時対策所用発電機からのケーブル接続が実施できているか。 ・緊急時対策所用発電機を起動し、電源供給の準備が実施できているか。
空調設備	(作業完了目標時間 1時間30分) 緊急時対策所空気浄化設備の運転 △空気浄化設備(A)運転開始 → 空気浄化設備(B)運転準備開始					・緊急時対策所空気浄化設備(A)のダクトが接続できているか。 ・緊急時対策所空気浄化設備A号機の運転ができていないか。
エリアモニタ	緊急時対策所エリアモニタ設置 (作業完了目標時間 20分)	緊急時対策所加圧判断用の可搬型モニタ設置	*:可搬型モニタ(海側)は、事前設置し 緊急時対策所内で指示値確認する。			・緊急時対策所エリアモニタを設置し、指示値の確認ができていないか。 ・緊急時対策所加圧判断用の可搬型モニタを設置し、指示値の確認ができていないか。 ・可搬型モニタ(海側)を設置し、指示値の確認ができていないか。
加圧設備	[作業着手条件] ・炉心損傷兆候、格納容器圧力高 ・可搬型モニタ等線量率上昇 など	(作業完了目標時間 120分) 緊急時対策所加圧設備の準備				・緊急時対策所加圧設備の配管が接続できているか。 ・緊急時対策所加圧設備の加圧空気の供給準備が行われているか。
専門部会委員	会議室 ★(バス移動)	災害対策本部[緊急時対策所(EL.32M)]				会議室 ★(バス移動)